

ワケ カタチには理由がある(16)

～CMPクオード・ガントラクター No.12 キャブ



本車両は、英国連邦で使用された、野砲牽引用のトラクターです。同連邦の一つであるカナダで作られました。同国には、隣国である米国のフォードやクライスラーがカナダに自動車の生産設備を持っていたため、これらのメーカーによって同種車両が製造されましたが、その際、カナダ陸軍は統一規格を決めて発注を行いました。これが CMP(Canadian Military Pattern) と呼ばれる規格です。四駆のため、クオード・ガントラクターと呼ばれ、このタイプは CMP 規格 No.12 キャビンを用いて作られています。コロッとした形状は甲虫のようですが、アフリカ戦線に送られて野砲を牽引する姿はナイル文明の象徴スカラベ(フンコロガシ)のようで砂漠の風景にとっても似合っているように思います。なお、模型だと小さく感じますが、そこは相当な重量の野砲を牽引する車両、同じ甲虫系である、同スケールのフォルクスワーゲン・ビートルと比べると相当大きな車両であることがわかります。

【模型について】

イタリアのエッシー(Esci)製 1/72 のインジェクションキットですが、同社が廃業してしまったため、その金型は同じイタリアのイタレリに引き継がれて、現在もイタレリブランドで入手することができます。この車両は日本のモデラーにとって、タミヤ 1/35 の傑作キットが身近ですが、このキットも小さいながら佳作キットで、この車両の雰囲気をよく再現しています。なお、牽引している野砲は PSC 製のものです。(中川裕幸 2021年4月)